2024 年 3 月 22 日

# 子どもたちと海洋プラスチックゴミ調査イベントを観音マリーナ海浜公園にて開催しました
## ～身近な海の大切さを未来へ伝える～

当社は商船三井グループの企業市民活動・社会貢献活動の一環として、3月16日（土）、共催者であるNPO法人「チームくじら号」（註1）と商船三井とともに、広島市内の「観音マリーナ海浜公園」において、海岸漂着物調査イベントを開催しました。　本イベントにはGREEN SEA 瀬戸内ひろしま・プラットフォーム（註2）と広島県広島港湾振興事務所にも協力いただきました。

本イベントではチームくじら号、地元近畿大学教授などの専門家の指導のもと、当社やマツダ株式会社の従業員とその家族を合わせた16名（大人・子ども各８名）が、公園内の海岸でマイクロプラスチックの回収を行いました。その後、隣接した教室会場にて、回収したプラスチックを比重により分類することで漂着までのプロセスを学習するとともに、漂着物の顕微鏡観察や、深海のプラごみについての専門家の講話により、大人を含めた参加者全員が充実した学びを得ることができました。当社は今後も、未来を担う世代に海の大切さを伝える活動を続けてまいります。

(註1) 地球温暖化の問題や海の環境問題を学ぶことを目的に、子どもたちと海岸での海ごみ調査活動「うみの環境しらべ隊」などを行うNPO法人。

(註２) 2050年までに新たに瀬戸内海に流出するプラスチックごみの量をゼロにすることを目指した官民連携組織体。

商船三井グループが設定した5つのサステナビリティ課題

商船三井グループでは、事業を通じて優先的に取り組むべき社会課題として特定した「サステナビリティ課題」への対応を推進することで、持続可能な社会の実現に貢献します。本件は、5つのサステナビリティ課題の中でも特に「Environment -海洋・地球環境の保全-」にあたる取り組みです。

Environment